

1 荒川区立図書館案内

(1) 所在案内図

ゆいの森あらかわ（中央図書館）



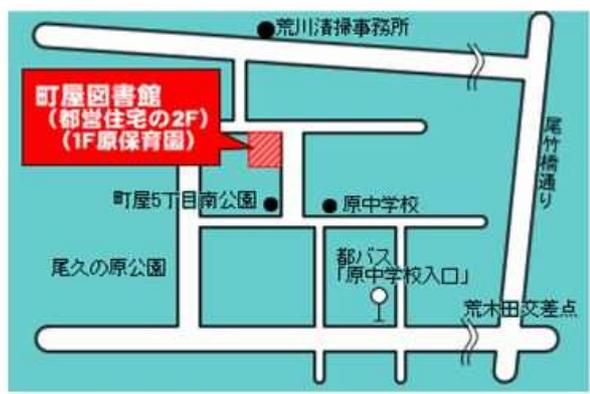
南千住図書館



尾久図書館



町屋図書館



日暮里図書館



汐入図書サービスステーション



冠新道図書サービスステーション

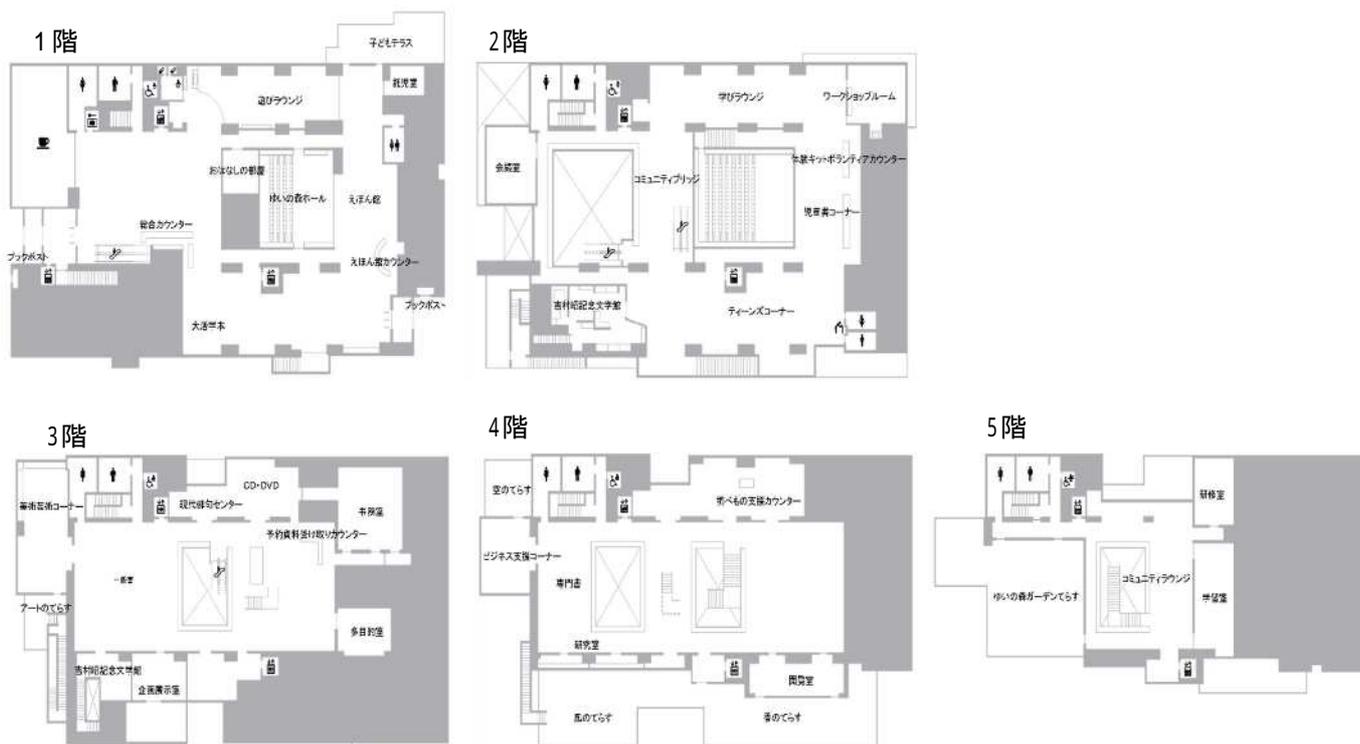


ゆいの森あらかわ （中央図書館）	荒川 2 - 5 0 - 1 03-3891-4349
南千住図書館	南千住 6 - 6 3 - 1 03-3807-9221
尾久図書館	東尾久 8 - 4 5 - 4 03-3800-5821
町屋図書館	町屋 5 - 1 1 - 1 8 03-3892-9821
日暮里図書館	東日暮里 6 - 3 8 - 4 03-3803-1645
汐入図書サービス ステーション	南千住 8 - 1 2 - 5 - 114 べるぼーと汐入東館 1F 03-3807-8130
冠新道図書サービス ステーション	西日暮里 6 - 2 5 - 1 4 03-3800-3321

(2) 各図書館の施設概要(令和3年3月31日現在)

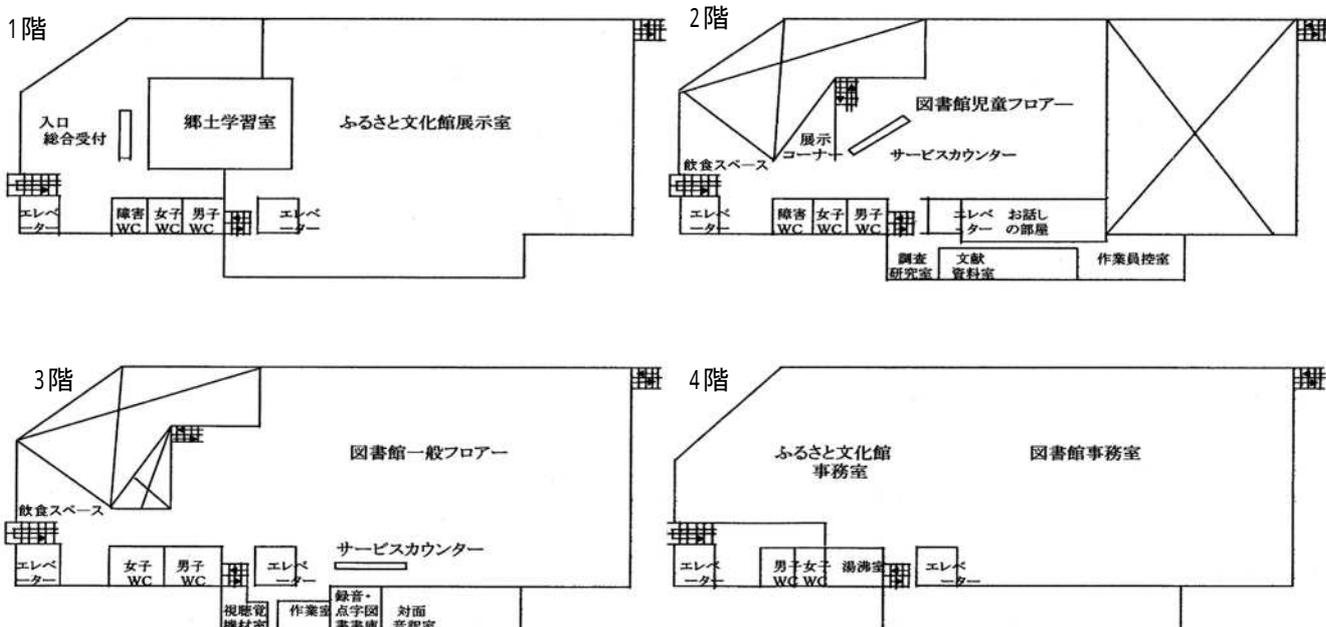
ア ゆいの森あらかわ(中央図書館)

所在地	荒川区荒川2-50-1			電話	03-3891-4349			
開設年月日	平成29年3月26日			FAX	03-3891-4350			
敷地面積	4,110.88㎡			建物	鉄筋コンクリート造 地上5階、地下1階 延床面積10,943.74㎡			
交通機関	都電荒川線荒川二丁目(ゆいの森あらかわ前)停留場下車徒歩1分 東京メトロ千代田線町屋駅・京成上野線町屋駅下車徒歩8分 コミュニティバス「さくら」ゆいの森あらかわ停留所下車(土・日・祝のみ運行)							
併設	吉村昭記念文学館(2階、3階)、ゆいの森子どもひろば(1階、2階)							
設備	点字ブロック、自動ドア、エレベータ、エスカレータ、多目的トイレ、対面音読室、録音室、ベビーステーション、託児室、AED、発電機、備蓄倉庫、乳幼児用紙おむつ容器							
座席数	933席(予約が必要な研究席(4階)、学習席(5階)を含む)							
無線LAN	ノートPC4台 全館無線LAN(FREE Wi-Fi)							
職員数	84名							
所蔵資料	一般書	279,616冊	CD	11,805点	児童書	66,967冊	DVD	1,799点
	地域行政資料	27,163冊	学校教育用ビデオDVD	90点	H S資料	3,735冊	視聴覚資料計	13,694点
	雑誌	22,388誌			新聞	48紙		
	蔵書冊数	399,869冊						
利用状況	令和2年度個人登録者数	27,542人	令和2年度入館者数	355,860人	令和2年度貸出利用者数	147,891人	令和2年度総個人貸出点数	608,091点
特色	約60万冊の蔵書規模を有する区の中央図書館・吉村昭記念文学館・ゆいの森子どもひろばが一体となった、あらゆる世代が活用できる施設です。利用者が自ら学び、体験し、人と人が交流できる、地域の文化やコミュニティの拠点づくりを目指します。また、災害時には、妊産婦や乳児を中心とした避難所として活用できるよう、免震構造を採用し、発電機や備蓄倉庫を備えています。							



イ 南千住図書館

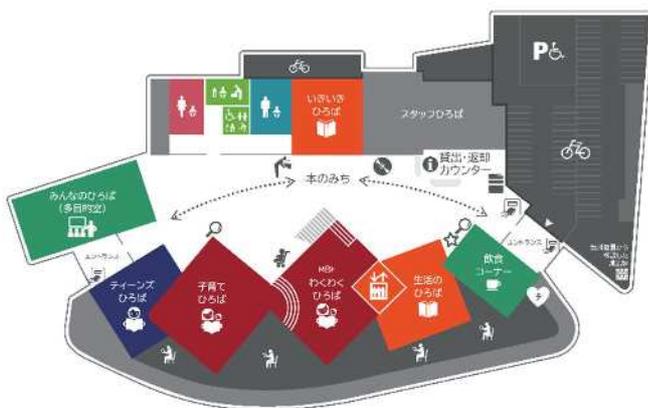
所在地	荒川区南千住6-63-1	電話	03-3807-9221
開設年月日	平成10年5月1日	FAX	03-3803-7744
敷地面積	2,723.96㎡	建物	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上4階、地下1階、塔屋のうち2階、3階、4階部分 延床面積2,686.10㎡、建物合計5,270.69㎡ (荒川ふるさと文化館延床面積2,584.59㎡)
交通機関	JR常磐線南千住駅・東京メトロ日比谷線南千住駅・つくばエクスプレス南千住駅下車徒歩10分 東京メトロ日比谷線三ノ輪駅・都電荒川線三ノ輪橋停留場下車徒歩15分 コミュニティバス「さくら」南千住図書館停留所下車徒歩2分 都バス千住大橋停留所下車徒歩2分 京成上野線千住大橋駅下車徒歩10分		
併設	荒川ふるさと文化館		
設備	点字ブロック、自動ドア、エレベータ、多目的トイレ、対面音訳室、防音室、ベビーステーション、飲食スペース、AED		
座席数	146		
無線LAN	ノートPC3台 全館無線LAN(FREE Wi-Fi)		
職員数	31名(汐入図書サービスステーション含む)		
所蔵資料	一般書 99,848冊	CD 12,864点	
	児童書 32,816冊	カセットテープ 1,577点	
	地域行政資料 5,595冊	ビデオテープ 1,124点	
	HS資料 20冊	DVD 1,820点	
	雑誌 7,531冊	16ミリフィルム 935本	
	新聞 11紙	学校教育用ビデオDVD 50点	
	蔵書冊数 145,810冊	視聴覚資料計 18,370点	
		映写機 9台	
利用状況	令和2年度個人登録者数 15,763人	令和2年度入館者数 144,272人	
	令和2年度貸出利用者数 69,520人	令和2年度総個人貸出点数 276,672点	
特色	区立図書館の中央館機能をゆいの森あらかわに移管した後も、28万冊の蔵書を収蔵可能な中規模館として運営しています。荒川区の歴史・文化を楽しみながら学び、探究できる荒川ふるさと文化館と共同した取り組みを実施するとともに、「俳句のまち あらかわ」にちなんだ奥の細道に関連するコーナーを設置しています。		



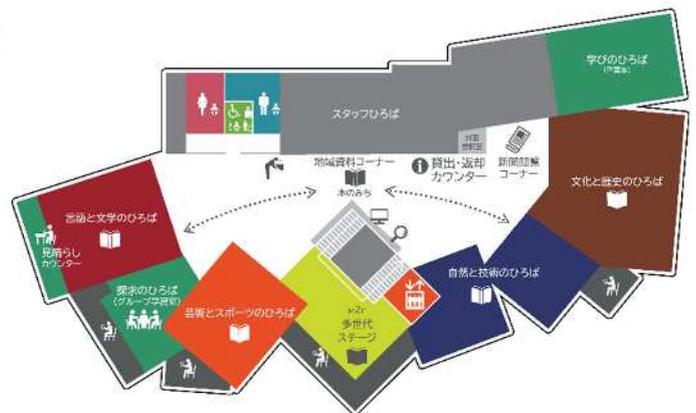
ウ 尾久図書館

所在地	荒川区東尾久8-45-4	電話	03-3800-5821
開設年月日	令和3年2月20日	FAX	03-3800-5822
敷地面積	1,728.54㎡	建物	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、自転車駐車場:アルミ造 延床面積 2,106.13㎡
交通機関	都電荒川線宮ノ前停留場下車徒歩2分 日暮里舎人ライナー熊野前駅下車徒歩8分 都バス熊野前停留所下車徒歩8分 都バス小台停留所下車徒歩9分		
併設	なし		
設備	点字ブロック、自動ドア、エレベータ、スロープ、インターホン、触知板、多目的トイレ、前広便座、対面音読室、ベビーステーション、飲食スペース、AED、障がい者専用駐車場、乳幼児用紙おむつ容器		
座席数	300		
無線LAN	ノートPC2台 全館無線LAN(FREE Wi-Fi)		
職員数	17名		
所蔵資料	一般書	69,592冊	CD 5,025点
	児童書	23,925冊	視聴覚資料計 5,025点
	地域行政資料	1,946冊	
	HS資料	23冊	
	雑誌	6,908冊	
	新聞	11紙	
	蔵書冊数	102,394冊	
利用状況	令和2年度個人登録者数	7,806人	令和2年度入館者数 56,123人
	令和2年度貸出利用者数	22,873人	令和2年度総個人貸出点数 89,554点
特色	<p>「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに赤ちゃんからご高齢の方まで幅広い世代の方々が快適に利用できる居心地の良い図書館です。</p> <p>公園内にある図書館という魅力を最大限に生かして、館内はまるで自然の中にいるかのような木の温もりを感じられる作りになっています。</p> <p>2階の見晴らしカウンターからは、隅田川方面を一望できるほか、1階と2階のあちこちにテラス席があり、晴れた日には緑に囲まれてゆったりと読書を楽しむことができます。また、長時間滞在利用者のほかにも、公園利用者が気軽に立ち寄れるよう、椅子を300席設けています。</p>		

1階



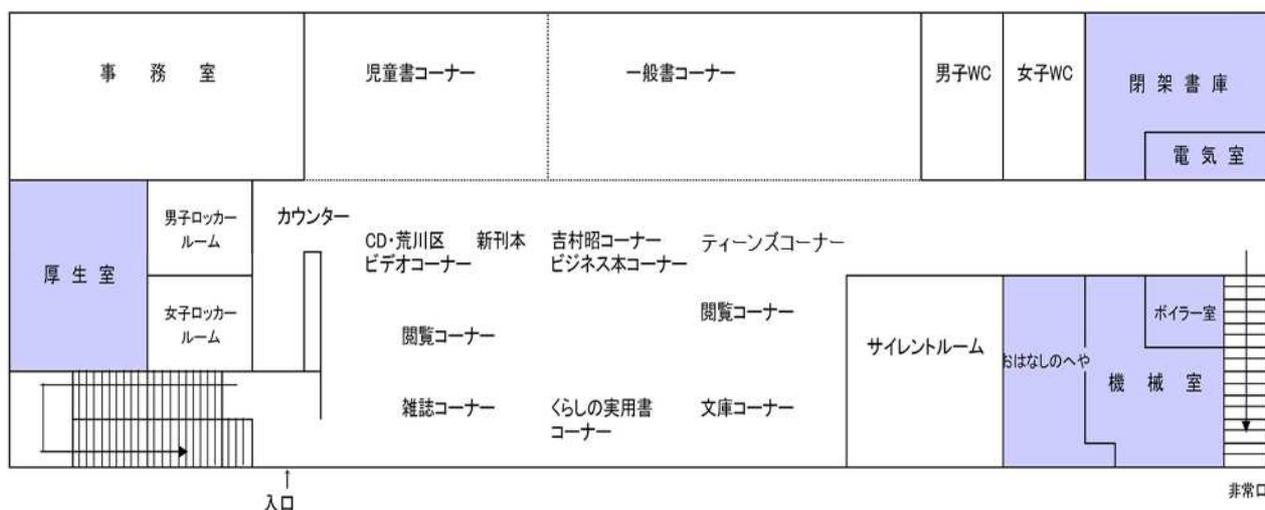
2階



工 町屋図書館

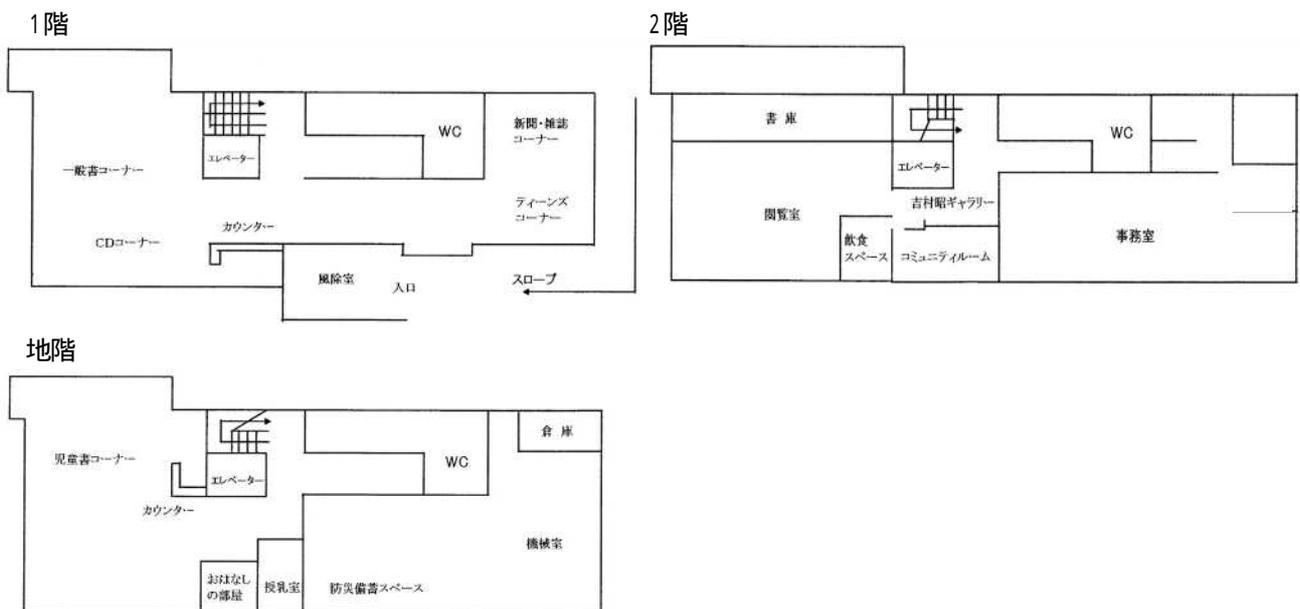
所在地	荒川区町屋5-11-18	電話	03-3892-9821	
開設年月日	昭和51年10月1日	FAX	03-3892-9822	
敷地面積	都営住宅敷地内	建物	鉄筋コンクリート3階建内2階部分 延床面積1,045.44㎡	
交通機関	東京メトロ千代田線町屋駅・京成本線町屋駅下車徒歩20分 都電荒川線町屋駅前停留場下車徒歩20分 都バス原中学校入口停留所下車徒歩3分			
併設	原保育園、都営住宅			
設備	スロープ、インターホン、車椅子昇降機、ベビーステーション、AED			
座席数	95			
無線LAN	ノートPC2台 全館無線LAN(FREE Wi-Fi)			
職員数	14名			
所蔵資料	一般書	86,173冊	C D	7,689点
	児童書	26,214冊	視聴覚資料計	7,689点
	地域行政資料	1,752冊		
	HS資料	10冊		
	雑誌	7,790冊		
	新聞	11紙		
	蔵書冊数	121,939冊		
利用状況	令和2年度個人登録者数	6,045人	令和2年度入館者数	80,004人
	令和2年度貸出利用者数	37,956人	令和2年度総個人貸出点数	151,216点
特色	都営住宅の2階において開館。階下には原保育園、前には原中学校、隣には公園、近くには隅田川・都立尾久の原公園・東京都立大学健康福祉学部があります。保育園・中学校と連携し、立地を生かした取り組みを進めています。 ワンフロアで明るく、シニア世代を意識した健康関連本、文庫本、環境、日本文学などの図書を所蔵しています。			

2階



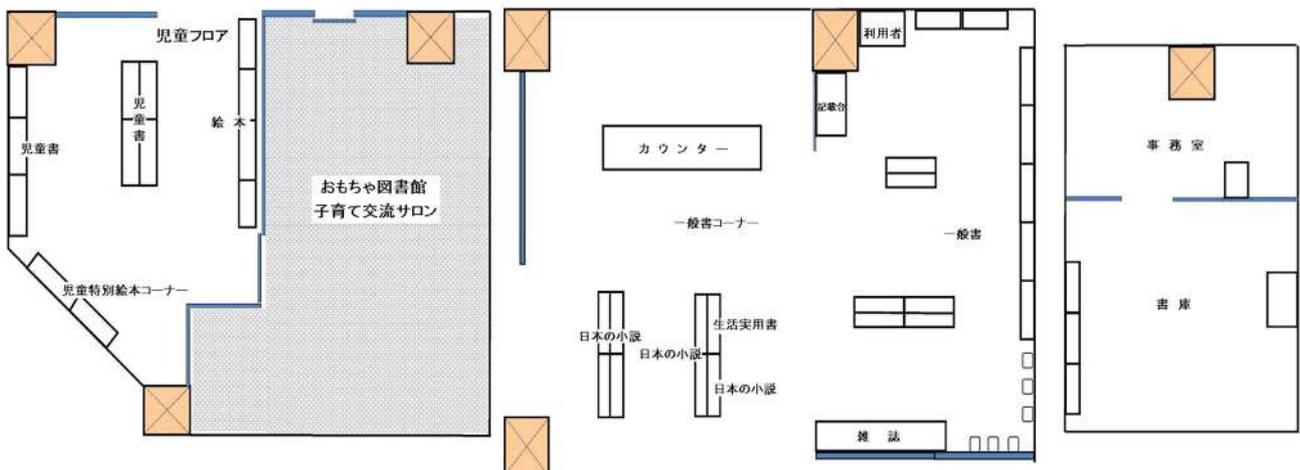
オ 日暮里図書館

所在地	荒川区東日暮里6-38-4	電話	03-3803-1645
開設年月日	昭和54年6月11日	FAX	03-3803-1646
敷地面積	893.92㎡	建物	鉄筋コンクリート地上2階地下1階建 延床面積1,369.66㎡
交通機関	JR 山手線・常磐線・京浜東北線、京成本線、日暮里舎人ライナー日暮里駅下車徒歩10分 JR 常磐線三河島駅下車徒歩8分 都バス大下停留所下車徒歩7分		
併設	なし		
設備	点字ブロック、自動ドア、エレベータ、スロープ、多目的トイレ、ベビーステーション、コミュニティルーム、飲食スペース、AED		
座席数	131		
無線LAN	ノートPC2台 全館無線LAN(FREE Wi-Fi)		
職員数	21名(冠新道図書サービスステーション含む)		
所蔵資料	一般書 63,543 冊	CD 5,546 点	
	児童書 27,206 冊	視聴覚資料計 5,546 点	
	地域行政資料 2,339 冊		
	HS資料 9冊		
	雑誌 6,446 冊		
	新聞 11 紙		
	蔵書冊数 99,543 冊		
利用状況	令和2年度個人登録者数 11,068 人	令和2年度入館者数 139,794 人	
	令和2年度貸出利用者数 69,513 人	令和2年度総個人貸出点数 258,729 点	
特色	学生や仕事帰りの方によく利用されています。経済、民俗、ハングル図書などを多く所蔵しています。2階には、荒川区出身で区民栄誉賞を受賞した作家・吉村昭氏の著作や写真、自筆原稿などを展示した「吉村昭ギャラリー」があります。児童室の窓の外には、日暮里ゆかりの童話「夕やけこやけ」の世界が描かれた壁画があります。平成25年6月には、天皇陛下の行幸を賜り、吉村氏の震災関連の資料展示をご覧いただきました。平成29年度には大規模改修を行い、平成30年4月21日にリニューアルオープンしました。		



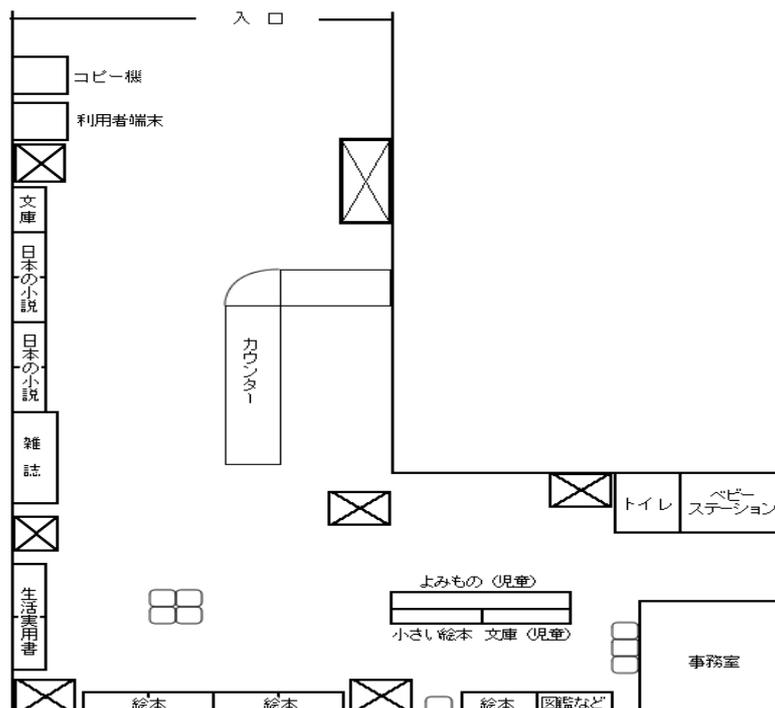
カ 汐入図書サービスステーション

所在地	荒川区南千住8-12-5 - 114 べるぽーと汐入東館1F	電話	03-3807-8130	
開設年月日	平成19年9月8日 (平成22年12月18日拡張) (平成25年10月1日拡充)	FAX	03-3807-8130	
		建物	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階 延床面積124.07㎡ (既存部分68.85㎡、拡張部分25.32㎡、 拡充部分29.90㎡)	
敷地面積	べるぽーと汐入東館内			
交通機関	JR常磐線南千住駅・東京メトロ日比谷線南千住駅・つくばエクスプレス南千住駅下車徒歩15分 都バス南千住汐入・はなみずき通り中央停留所下車徒歩2分 京成上野線京成関屋駅・東武伊勢崎線牛田駅下車徒歩10分			
併設	なし			
設備	なし			
座席数	9			
無線LAN	なし			
職員数	南千住図書館に含む			
所蔵資料	一般書	7,443冊	CD	0点
	児童書	5,537冊	視聴覚資料計	0点
	地域行政資料	132冊		
	HS資料	0冊		
	雑誌	407冊		
	新聞	29紙		
	蔵書冊数	13,519冊		
利用状況	令和2年度個人登録者数	4,048人	令和2年度入館者数	92,163人
	令和2年度貸出利用者数	45,650人	令和2年度総個人貸出点数	144,324点
特色	<p>南千住図書館から遠い汐入地域の区民に対する図書館サービスの充実と、急増する子育て世代の教育環境の整備のために、べるぽーと汐入商店街振興組合の空き店舗を借りて、南千住図書館の分室として運営しています。</p> <p>絵本や実用書、小説が主体の小規模な分室ですが、区内の図書館の資料を取り寄せ、ここで借りて、ここに返すことができます。拡張した児童フロアは、荒川区社会福祉協議会が運営する「汐入おもちゃ図書館・子育て交流サロン」と隣接しています。</p>			



キ 冠新道図書サービスステーション

所在地	荒川区西日暮里6-25-14	電話	03-3800-3321
開設年月日	平成21年11月14日	FAX	03-3800-3321
敷地面積	マンション兼店舗ビル内	建物	鉄筋コンクリート造地上6階のうち1階 延床面積181.44㎡
交通機関	JR 山手線・京浜東北線西日暮里駅・東京メトロ千代田線西日暮里駅下車徒歩15分 都バス西日暮里六丁目・新三河島停留所下車徒歩2分 京成上野線新三河島駅下車徒歩5分 日暮里舎人ライナー西日暮里駅下車徒歩12分		
併設	なし		
設備	自動ドア、スロープ、多目的トイレ、ベビーステーション、AED		
座席数	11		
無線LAN	なし		
職員数	日暮里図書館に含む		
所蔵資料	一般書	5,668 冊	CD 0点
	児童書	5,254 冊	視聴覚資料計 0点
	地域行政資料	112冊	
	HS資料	0冊	
	雑誌	434冊	
	新聞	0紙	
	蔵書冊数	11,468冊	
利用状況	令和2年度個人登録者数	2,116人	令和2年度入館者数 52,837人
	令和2年度貸出利用者数	27,121人	令和2年度総個人貸出点数 92,761点
特色	日暮里図書館から遠い西日暮里地域の区民に対する図書館サービスの充実のために、冠新道商興会に面するマンション兼店舗1階の一室を借りて、日暮里図書館の分室として運営しています。 絵本や実用書主体の小規模な分室ですが、区内の図書館の資料を取り寄せ、ここで借りて、ここに返すことができます。ベビーステーションを設置し、子ども連れの利用にも便利なため、多くの親子連れの方にご利用いただいています。		



(3) 図書館施設の充実に向けて

ア 尾久図書館

令和3年2月に開館した尾久図書館は、「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに、赤ちゃんから高齢の方まで幅広い世代の方々が快適に利用できる居心地の良い図書館です。

公園内にある図書館という魅力を最大限に生かして、館内はまるで自然の中にいるかのような木の温もりを感じられる作りになっています。

館内には全世代が集える「ひろば」を整備し、新しい本や様々な人と出会う「世代間の交流」を推進します。賑やかな図書館としてざわめきを許容し、読み聞かせや声を出しながら読書を楽しむことができる、だれもが気兼ねなく利用できる図書館です。

コンセプト

- ・公園内という立地を生かし、「学ぶ、集う、楽しむ」をテーマに赤ちゃんから高齢者までのあらゆる世代が、快適に利用できる図書館
- ・地域社会の発展の基礎を形成する生涯学習や地域交流の場として、区民が心豊かで実りある人生を送ることができる地域住民の新たな文化振興拠点

主な特徴

- ・四季折々の花々を眺めながら読書のできる「テラス席」や館内からも公園北側のローズガーデンを一望できる「見晴らしカウンター」を設け、お気に入りの席で読書を楽しむことができます。
- ・散歩途中でもふらっと立ち寄っていただけるように出入口を2か所設け、館内を通り抜けることも可能です。
- ・公園利用者もゆっくり休憩いただける「飲食スペース」を設置しています。
- ・明るく開放感あふれる吹き抜けの中2階には雑誌やコミック、大人向けの絵本を配置しています。

(1)気軽に利用できる身近な図書館

- ・親子で読み聞かせや手遊びができるおはなしコーナーを設置
- ・座席が300席あり、バラエティに富んだイスを配置
- ・赤ちゃんから高齢者まで快適に過ごすことができる空調(輻射式冷暖房)を導入

(2)交流の拠点

- ・自然観察会等、公園と連携したイベントができる多目的室を設置
- ・グループ学習室を設置
- ・生涯学習活動やボランティア活動の拠点

(3)バリアフリー

- ・多目的トイレを充実
- ・障がい者専用駐車場を設置
- ・対面音訳室を設置



おはなしコーナー



多世代ステージ



テラス

現在整備中の宮前公園は、西尾久と東尾久に位置する都市計画公園で、令和3年度中の完成を目指しています。宮前公園は、防災公園としての性格を持ちつつ、既に開設済みの保育園に加え、テニスコートも併せて整備されることになっています。

イ ゆいの森あらかわ

平成29年3月26日に開館したゆいの森あらかわは、中央図書館・吉村昭記念文学館・ゆいの森子どもひろばが、一体となった、あらゆる世代が活用できる施設です。利用者が自ら学び、体験し、人と人とが交流できる、地域の文化やコミュニティの拠点づくりを目指します。

中央図書館機能

区の中央図書館と位置づけられる図書館は、約60万冊の蔵書規模の書架や900席を超える座席を備え、全ての世代の読書活動や課題解決の支援と、地域文化の情報発信の拠点とします。

- ・様々な課題解決を支援するレファレンスカウンターやビジネス支援カウンター、時事に沿った特集コーナー等の設置
- ・赤ちゃんから高齢者までだれもが楽しめるえほん館
- ・緑陰読書ができる屋外テラス席や会話を楽しめるグループ席などの座席

吉村昭記念文学館機能

荒川区出身で「戦艦武蔵」や「三陸海岸大津波」、「ポーツマスの旗」などで著名な小説家、吉村昭氏(昭和2年～平成18年)を紹介する吉村昭記念文学館は、吉村文学の魅力を広く発信し、その精神を次代へと引き継ぐこと、また、吉村文学をきっかけとして区の文化の更なる振興へとつなげる場を目指しています。

- ・小説家として活躍した吉村氏の生涯と作品を中心に紹介するほか、主な作品の舞台や取材地、作品に描かれたふるさと荒川区、妻であり作家の津村節子氏の文学世界等を紹介
- ・吉村氏の書斎を再現し、作品執筆の臨場感を演出
- ・紹介映像等の閲覧、展示解説等の実施
- ・企画展示室は、館全体の展示等のスペースとしても活用

ゆいの森子どもひろば機能

乳幼児向けの遊び場と小・中学生の居場所を中心に、子育て世代のコミュニティの場の提供や科学実験やワークショップ等を通じて子どもたちの夢や生きる力を育みます。

- ・「体験キット」や「ワークショップ」等で、遊びから学びへとつなげる多様な体験事業を小学生に提供
(体験事業例: 星空学習、環境学習、科学実験)
- ・親子で利用できる乳幼児向けの室内遊び場や小中学生の安全な居場所を提供
- ・ゆいの森あらかわ利用者を対象に、乳幼児一時預かり(時間単位)を実施

防災機能

災害時に妊産婦や乳児を中心とした避難所として活用します。

- ・乳児等の避難所対応に必要な備蓄品のほか発電機を準備
- ・平常時から避難訓練、避難所開設訓練等を実施
- ・発災直後からこころのケア等、様々な課題に沿った本の提供体制を準備

その他の機能

利便性の向上のため、その他様々なサービスを実施します。

- ・館内の本を持って入れるカフェ
- ・館内の全てのフロアに無線LANを完備
- ・インターネットで学習席やイベントを簡単予約
- ・新聞記事が検索できるデータベースの提供
- ・自動貸出機や読書履歴印刷機の設置

令和2年度のイベント

・ゆいの森ホール(ゆいの森あらかわ主催・共催)

- 11月8日 岩波少年文庫創刊70年！ヒミツを大公開！！
- 12月13日 アニメ上映会「ぐるんぱのようちえん」原画展関連

・1階遊びラウンジ・おはなしの部屋等(子育て世代向け)

ゆいの森あらかわ1階遊びラウンジでは、未就学児とその保護者を対象に月1回程度「親子あそびタイム」を開催しています。また、年5回程度、遊びタイムを発展させ、より多彩なプログラムで親子の触れ合いを充実させる「なかよしタイム」を開催しています。また、1階おはなしの部屋では、毎週水曜日、職員とボランティアによる「おはなし会」を開催しています。さらに、子育て世代の育児を支援するため、子育て講座を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中の遊びタイムは中止とし、「なかよしタイム」も年間を通して休止としました。

- 11月19日 遊びタイム「大型絵本「たまごにいちゃん」」
- 12月18日 遊びタイム「～ブラックパネルシアター～「メリークリスマス」」

3月17日 子育て講座「育児相談～離乳食・卒乳について

・2階ワークショップルーム、学びラウンジ等(小中学生向け)

ゆいの森あらかわでは、例年実施している荒川区立の小学校(24校)の4年生を対象に「あらかわ環境・未来体験学習」が新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になったことを受け子どもたちに宇宙や星座について学ぶ機会を提供するため、夏休みに星空学習を実施しました。また、消毒等の安全対策を徹底することで遊び感覚で学べる体験キットの貸し出しを継続しました。

- 8月 1日 ポップアップカードづくり
- 2日 紙ヒコーキをつくろう
- 11日 星空学習・夏の星座の話(午前)(午後)
- 12日 星空学習・夏の星座の話(午前)(午後)
- 17日 ふわふわの分子模型をつくろう
- 9月 5日 ウイルスの話とデコマスクケースづくり(午前)(午後)
- 19日 ゆいの森のテラスで虫の声をきこう
- 10月 3日 ペットボトルで三河島菜を育てよう
- 21日 体験キットワークショップ 錯覚を体験しよう
- 11月 4日 体験キットワークショップ 鏡の不思議を体験しよう
- 29日 クリスマスツリーをつくろう
- 12月 2日 体験キットワークショップ 荒川区を見てみよう
- 20日 門松の制作・飾り付け(成人講座)

令和2年度体験キット貸出件数

(単位:件)

体験キットの種類	貸出件数	体験キットの種類	貸出件数
明かりを灯そう		こまをまわそう	188
磁石に触れよう		植物を観察しよう	179
色を作ろう		昔の文字で遊ぼう	
歯車を回そう	159	錯覚を体験しよう	
静電気を作ろう	196	お弁当をつくろう	278
空気の色を知ろう	273	荒川区を見てみよう	
図形を作ってみよう		文字を組み合わせよう	
幾何学模様を描こう	274	鏡の不思議	
パズルに挑戦しよう	273	てことギア	190
熟語と対義語		世界の地図	
原子と分子		地球の内部	8
光のふしぎ	13	大気圧を感じてみよう	17
バランスで遊ぼう	24	ものの重さ	7
		合 計	2,079

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための利用制限等により、体験キットの貸出を令和2年4月1日から7月9日までと令和3年1月8日から令和3年3月31日まで休止しました。

園芸ボランティア

昨年に引き続き成人向けの講座として「園芸(ボランティア育成)講座」を実施し、あいさつ広場でのバラ花壇の整備、小菊のローソクづくり、ミニ懸崖などの栽培を行いました。

- 7月11日 園芸ボランティア育成講座(第1回)
- 8月8日 園芸ボランティア育成講座(第2回)
- 9月19日 園芸ボランティア育成講座(第3回)
- 11月7日 園芸ボランティア育成講座(第4回)

令和2年度の企画展示

ゆいの森あらかわ3階企画展示室では、さまざまな展示を行いました。

- ・えほん館原画展「全部堀内誠一」(12月5日～1月24日)
- ・戦後75年 戦史の預言者たち 吉村昭が記録した戦争体験者の声 (11月21日～常設公開)
企画展示室での展示は行わず、ウェブ展示のみ
- ・吉村昭 医学小説 伝染病予防に奔走した人々 (3月24日～6月30日)
4月28日～5月18日まで臨時休館

ウ 吉村昭記念文学館

吉村昭記念文学館は、吉村昭(昭和2年～平成18年)の功績を顕彰し、吉村文学を契機として幅広い文化領域と連携し、区の文化のさらなる振興へ寄与することを目指しています。

吉村昭記念文学館の目的

- ・吉村昭の功績を顕彰し、その作品世界を研究する
吉村文学に関する研究拠点として、関連資料の収集・保存・公開をはじめとする様々な活動を展開することにより、吉村の作品が、広く、永く、読み継がれることに貢献します。
- ・吉村文学に親しみ、文学を通して心を育む場を作る
様々なテーマを持つ吉村文学に親しむとともに、吉村文学を契機として更に広範な文学に親しみ、心を豊かにし、知的好奇心を満足させることができる空間を提供します。
- ・吉村文学を契機として、幅広い文化領域と連携し、荒川区における文化の醸成を図る
吉村文学を核として、広範な文化領域とも連携した事業を展開し、区民の文化活動の活性化と荒川区における文化の醸成に寄与します。
- ・吉村文学を育んだ荒川区の魅力を外内に発信する
日本各地はもとより海外にも及ぶ吉村文学の舞台。これらの地域や周辺地域と交流、連携を図りながら、小説家、吉村昭の功績とその作品世界、そして、吉村氏を育んだ荒川区の魅力を外内に紹介します。

フロアマップ



常設展示

・展示ゾーン

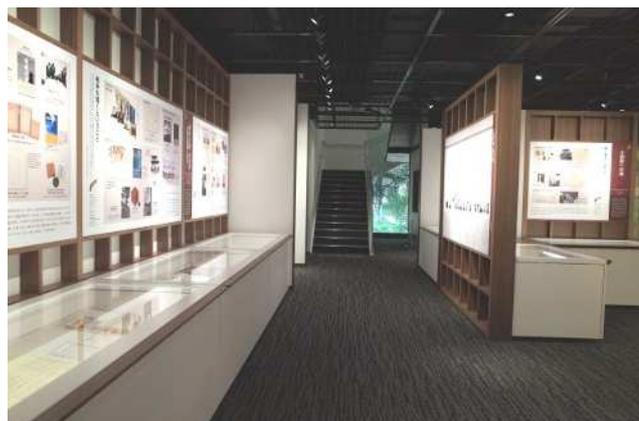
荒川区出身の小説家、吉村昭の生涯とその作品をさまざまな資料とともに紹介します。

吉村は、昭和2年5月1日、東京府北豊島郡日暮里町大字谷中本(現東京都荒川区東日暮里六丁目)に生まれました。そして、昭和20年4月13日の空襲で家が焼失するまでの18年間を荒川区で過ごしました。幼少の頃から、家族の死や戦争、そして、自らも死の危険を伴う肋骨切除の手術を経験します。時代が大きく変化する中で、こうした体験は、若い吉村の脳裏に深く刻み込まれ、小説家を志す動機となりました。

吉村は、「死とはなにか、生とはなにか」を主題に人間の本質を探究し、数多くの短篇・長篇の作品を執筆しました。常設展示では、自筆原稿、ノート、書簡、初出誌、著作、写真、愛用品などにより、吉村の作品世界や創作背景を紐解きます。



エントランス



常設展示室

・書斎再現展示

吉村が昭和53年から亡くなる平成18年まで使用していた書斎を再現展示しています。書棚にある書籍は、吉村が生前に使っていたものをほぼそのままの配置で展示しています。



・映像コーナー

荒川区では、平成25年度から4か年に分けて、津村節子氏や吉村と親交があった編集者、作家、取材先で出会った方々を対象にインタビューを行い、証言映像として記録してきました。また、令和元年度は、「吉村昭と俳句」をテーマに新たな証言映像を作成しました。このコーナーでは、証言映像のほか、作品や人柄を紹介した映像など、全11作品をご自由に視聴できます。

	分類	映像タイトル	時間
1	吉村昭とは	作家 吉村昭の生涯	3:02
2		人間の「生」を見つめて 短篇小説と長篇小説	3:18
3		人間の「生」を見つめて 吉村昭の随筆	2:49
4		吉村昭と津村節子	3:16
5	紹介映像	吉村昭とふるさと「あらかわ」	14:26
6	証言映像	奥深い歴史を紐解く～吉村昭と長崎～	14:54
7		北へ注がれる視線～吉村昭と北海道～	15:03
8		証言 作家 吉村昭	11:53
9		編集者が語る 吉村昭の作品世界	13:02
10		瀬戸内寂聴・津村節子 吉村昭を語る	17:07
11		貫きしことに悔いなし～吉村昭と俳句～	17:19

・吉村昭著作閲覧コーナー

このコーナーでは、吉村の著作や当館の刊行物を閲覧できます。なお、図書の貸出は、3階「吉村昭著作・関連図書コーナー」をご利用ください。

おしどり文学館協定事業

吉村昭記念文学館は、福井県ふるさと文学館と平成29年11月5日に、「おしどり文学館協定」を締結しました。作家夫婦に関する文学館同士の連携協定としては全国で初めてのものとなります。締結3年目となる令和2年度は、両館において合同展示を行うとともに、両館でおしどり文学館グッズを作成し、イベント参加者やアンケート回答者に特典として配布しました。

- ・展 示 【荒川区】 吉村昭が描いた天狗党 「動く牙」と「天狗争乱」福井の旅
【福井県】 「吉村昭と医」

企画展

その時期に周年を迎えるテーマなど、幅広い世代が関心を持つテーマを設定し、企画展示室やWEBサイトで展示を行っています。

- ・戦後75年 戦史の証言者たち 吉村昭が記録した戦争体験者の声 (令和2年11月21日～常時公開)
ウェブ展示
- ・吉村昭 医学小説 伝染病予防に奔走した人々 (令和3年3月24日～6月30日)
4月28日～5月18日臨時休館

トピック展

「担当学芸員一押し」として、常設展示で紹介していない資料をより掘り下げたテーマで紹介しています。

- ・第9回 吉村昭と震災小説 「三陸海岸大津波」と「関東大震災」を中心に 2月21日～7月15日
- ・第10回 瀬戸内寂聴と津村節子 7月17日～9月16日
- ・第11回 吉村昭が描いた天狗党 「動く牙」と「天狗争乱」福井の旅 9月18日～12月16日
- ・第12回 吉村昭と万年筆 12月18日～3月17日
- ・第13回 新収蔵資料展 自筆原稿大公開 3月19日～6月16日

自筆原稿紹介コーナー展示

常設展示室3階の自筆原稿紹介コーナーで、吉村・津村両氏の自筆原稿等を紹介しました。

- ・吉村自筆原稿 「弱兵」 2月21日～7月15日
- ・吉村自筆原稿 「海も暮れきる」 7月17日～9月16日
- ・津村自筆原稿 「茜色の戦記」 9月18日～12月16日
- ・吉村自筆原稿 「桜田門外ノ変」 12月18日～3月17日

特集コーナー

- ・自然災害と人間の営み 「三陸海岸大津波」と「関東大震災」
自然災害をテーマにした吉村の代表的な作品「三陸海岸大津波」(原題「海の壁」)と「関東大震災」を紹介しています。これらの作品は、丹念な証言収集を経て著されており、その調査過程を自筆ノートやメモとともにたどります。
- ・全国文学館協議会第9回共同展示「3.11文学館からのメッセージ」に参加し、特集コーナー及びトピック展示において、「吉村昭と自然災害」(令和3年2月19日～4月14日)の展示を行い、体験者の証言が記された取材ノート等を公開しました。

刊行物作成

- ・令和2年度企画展図録「戦後75年 戦史の証言者たち 吉村昭が記録した戦争体験者の声」
- ・令和2年度企画展図録「吉村昭 医学小説 伝染病予防に奔走した人々」
- ・吉村昭記念文学館ニュース「万年筆の旅」Vol.15(令和2年10月)
- ・吉村昭記念文学館ニュース「万年筆の旅」Vol.16(令和3年3月)

吉村昭記念文学館友の会

荒川区では、「吉村昭記念文学館」の情報を全国に広く発信していくとともに、この文学館が、全国の皆様から吉村文学の真髄に触れることのできる場として親しまれ、地域文化の醸成に貢献する施設となるようご支援いただくことを目的として、「吉村昭記念文学館友の会」を設立し、会員を募集しています。

会員期間は、毎年度更新制とし、年度の末日(3月31日)までが会員期間となります。ただし、個人会員(3年)は入会日の2年後の年度末までとなります。

会費 個人会員(1年) 1,000円 個人会員(3年) 2,500円 法人会員 3,000円
賛助会員 1口 2,000円より

賛助会員は、友の会の趣旨に賛同し、寄附により活動を支援していただける個人・法人の方を対象。賛助会費は、文学館の運営費として活用いたします。

吉村昭記念文学館友の会会員数 (令和3年3月31日現在)

	個人会員・法人会員	賛助会員	合計
会員数	366	41	407

○友の会会員限定イベント

- ・万年筆を使って作家体験をしよう(12月20日～12月25日)
- ・新収蔵資料展 自筆原稿先行公開(3月12日～3月16日)

吉村昭記念文学館友の会設立趣意書

荒川区出身の作家・吉村昭氏は、徹底した取材と情感を抑えた文体による作品を数多く執筆し、「戦艦武蔵」や「三陸海岸大津波」などの記録文学、そして、「ポーツマスの旗」や「彰義隊」などの歴史文学の分野で我が国の文壇に確固たる地位を築きました。

吉村氏は、多感な時期を過ごした“ふるさと”である荒川区に対する強い思いを持ち続け、随筆や小説にその思いを度々記しています。

荒川区では、吉村氏の功績を後世に伝え、吉村文学を通して真実を見極める眼差しを学び、より多くの方々が文学に親しむとともに、荒川区を知り、郷土愛を育める場として、(仮称)吉村昭記念文学館の検討を重ねておりました。

この度、この文学館の設置目的を十分に満たし、さらに、図書館のような施設との併設を強く望んでおられた吉村氏の御遺志を尊重し、荒川二丁目に整備する複合施設に、平成29年春、文学館を開設することとなりました。

この施設は、全ての世代が活用できる図書館と、未来を託す子どもたちの施設と文学館が融合することにより、これまでの文学館の事業だけでなく、新しい事業の展開を目指しています。

私たちは、この文学館が全国の皆様から吉村文学の真髄に触れることのできる場として親しまれ、地域の文化の醸成に貢献する施設となることを支援するため、「吉村昭記念文学館友の会」を設立します。

平成27年 3月 7日

発 起 人

西川 太一郎
(特別区長会会長・荒川区長)

瀬戸内 寂聴
(作 家)

山 崎 穎
(跡見学園理事長)

逢 坂 剛
(作 家)

エ 地域における読書環境の拡充

図書サービスステーション

近くに図書館が無く、図書館サービスが十分行き届きにくいと思われる地域でのサービスを充実するため、現在、2箇所の図書サービスステーションを設置しています。

図書サービスステーションでは、区立図書館に所蔵しているすべての図書・雑誌・CD等の資料を借りたり、返したりすることができます。開館時間は他の地域館と同じく、火曜日～金曜日は9時30分から19時30分まで、土曜日・日曜・祝日は9時30分から17時までです。休館日は、月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日以降の平日)、年末年始、月1回の館内整理日です。

汐入図書サービスステーションは、南千住図書館の分室として、平成19年9月8日にべるぽーと汐入東館内に開設しました。この施設は、子育て世代を中心に人口が急増している汐入地域に位置し、利用者数が非常に多いことから、平成22年12月18日にフロアを拡張するとともに、蔵書の追加を行いました。さらに、拡張したフロア部分には「柳田邦男さんおすすめ絵本コーナー」を設置しました。また、同日付けで、荒川区社会福祉協議会が運営する「汐入おもちゃ図書館子育て交流サロン」が隣接して開設されました。

また、平成25年10月1日には、書架を増設し、文庫本や実用書、育児書などを中心に2,500冊程度蔵書を増やし、座席も9席に増えました。

冠新道図書サービスステーションは、日暮里図書館の分室として、平成21年11月14日に冠新道商興会の一角に開設しました。

令和元年度及び令和2年度 図書サービスステーション利用状況

		合計実績		一日当たり実績	
		令和元年度	令和2年度	令和元年度	令和2年度
汐入	登録者数(人)	4,341	4,048	15	16
	入館者数(人)	148,029	92,163	505	364
	貸出利用者数(人)	55,275	45,650	189	180
	個人貸出点数(点)	169,035	144,324	577	570
	図書蔵書冊数(冊)	13,853	13,519		
冠新道	登録者数(人)	2,189	2,116	7	8
	入館者数(人)	59,070	52,837	201	209
	貸出利用者数(人)	30,168	27,121	103	107
	個人貸出点数(点)	99,296	92,761	338	365
	図書蔵書冊数(冊)	11,115	11,468		

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月8日～5月29日は休館、5月30日～6月18日までは予約本受取りのみ対応
令和3年1月13日～3月31日は開館時間を19時まで短縮して開館

あらかわ街なか図書館

荒川区では、平成30年5月27日、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を行い、「本が身近にあるまちづくり」を積極的に進めています。

「あらかわ街なか図書館」は、区や民間の施設に本棚と書籍を設置し、区民の誰もが、いつでも、身近に本に触れられる場を提供するものです。

平成30年6月から、荒川区役所、生涯学習センター等の区施設や、病院、飲食店等の民間施設に設置を進め、あわせて48か所(令和3年3月末現在)に設置しています。



荒川区役所国保年金課